



新喜多中だより

校長 河本 浩幸



～うちの生徒はみんな新喜多の子～

令和7年3月24日

第26号



学校 HP はこちら👉

## 「学ぶことの素晴らしさ」

先日、「35年目のラブレター」という映画を観に行きました。「夜間中学校での学び」がテーマだったのですが、この歳になり、涙腺が緩くなっているからか、ずっと涙しながらの鑑賞となりました。

笑福亭鶴瓶さんが演じる主人公、西畑 保(たもつ)は、複雑な生い立ち、貧しい生活、そしていじめにより学校に通えなくなり、義務教育を修得せずまま大人になりました。それにより、文字を読んだり、書いたりすることができず、「自分の名前が書けない」、「サービスを受けようにも書類が読めない」など、生きづらい日々を過ごしていました。そんな彼のそばにはいつも最愛の妻・饺子(きょうこ)がいました。饺子と運命的に出会い、めでたく結婚しましたが、その幸せを手放したくないが故に、保は読み書きができないことを言い出せずにいました。ついに半年後、ひた隠しにしてきたその秘密が知られ、別れを覚悟する保だったが、饺子は保の手をとりながら、「今日から私があなたの手になる」と告げました。その優しい言葉と眼差しに、保は救われました。そして、「どんな時も寄り添って支えてくれた妻へ、感謝のラブレターを書きたい」という思いから、定年退職を機に保は夜間中学校に通い始めます。夜間中学校では、担任の先生によるじっくりと粘り強い教えにより、保は少しずつ読み書きができるようになり、7年後に愛と感謝の気持ちがたっぷり詰まった妻へのラブレターを書き上げるのでした。映画では夜間中学校に通う生徒たちの背景も描かれており、ひきこもりの経験がある少女や、他人と顔を合わせてコミュニケーションができない少年、故郷の家族のために働いている海外の青年など、年齢や国籍、生い立ちなどそれぞれに事情がありながらも、「勉強をしたい」という生徒の熱意に心を揺さぶられるシーンが多数ありました。

かなりあらすじやネタバレが多くなってしまい、申し訳ございません。私はこの映画を見て、学校教育の大切さを改めて感じる事ができたとともに、自分が生徒の学びに関わることができる「学校の先生」という素晴らしい職に就けていることに感謝の気持ちであふれてきました。これからは国際情勢の不安定化や AI を含む情報化の進展など、世の中が急速に変化し、先行きが不透明で、予測が困難な時代と言われています。ですので、子どもたちはこれから先やってくるであろう、様々な困難に対して、必死になってチャレンジし、たくさん汗をかくこともあるでしょう。ときには答えが出せない悩みごとをし、悔しくて思いっきり涙を流すこともあるでしょう。しかし、そんな汗も涙も、新喜多中生なら味方にする事ができると思います。そして、すべてを乗り越えた先にある、子どもたちの笑顔が、幸せへと導いてくれることを、私は信じています。

「どんな人でも、生まれ育ちがどうであろうと、何歳からでも何かをやろうとしたら必ずできる。」と保が話すように、新喜多中生が前向きな姿勢で、どんなことにも積極的にチャレンジしてもらえるように、今後も教職員が一丸となって子どもたちを支えていきたいと思えます。

なお、ご存じの方も多いと思いますが、東大阪市内にも夜間中学校は2校あります。そこに在籍する生徒のみなさんの思いが詰まった文集「大人の中学生」を先日いただきましたので、もし興味のある方がおられましたら校長室までお越しください。「学ぶことの素晴らしさ」、改めて実感します。

～辛いこともちょっとしたことで幸せ～

西畑 饺子

## ●第78期生 卒業証書授与式

3月13日(木)、第78回卒業証書授与式を行いました。卒業証書を受け取る卒業生の表情はとても堂々としていました。そして、卒業生代表による「答辞」や、卒業生全員で「旅立ちの時」、「正解」を合唱している姿はとても立派でした。私が78期生の生徒たちと過ごしたのはわずか1年間だけでしたが、私のこの1年間の中には、生徒からもらった感動や笑いがたくさん詰まっており、感謝の気持ちでいっぱいです。式辞でも述べたのですが、日常の楽しさやその素晴らしさを78期生のみなさんから感じることができました。一人ひとりが地域、そして、社会の一員として、活躍されることを期待しています。78期生のみなさん、卒業おめでとう！



## ●令和7年度 0学期指導！

卒業式の感動や余韻がある中ではありましたが、「シン・新喜多中学校」として1,2年生だけの学校生活が始まりました。この期間は子どもたちの新たなスタートにとってとても大切な時間だと考えており、「令和7年度はすでに始まっている！」というメッセージを込めて、ポスター(右に参照)を作成して各教室などにも掲示し、全校集会では改めて「時間・挨拶・思いやり」を大切にしていこうというお話をしました。



## ●クリーン作戦

3月17日(月)、環境美化委員が企画してくれた「クリーン作戦」を実施しました。普段使っている学校内を1年生が担当し、自分たちが生活している地域を2年生が担当して、生徒と教師が全員で清掃活動を行いました。かなり寒い中での清掃活動となりましたが、子どもたちはみんな熱心に取り組み、地域の方からは「ありがとう」、「助かるわあ」、「ええ子らやなあ」などのお言葉をたくさんいただきました。



## ●1年間ありがとうございました

本日、令和6年度修了式を行い、子どもたちに修了証をお渡ししました。これをもって新喜多中学校の令和6年度も終了です。「うちの生徒は、みんな新喜多の子」を合言葉に、子どもたちが安心・安全で、楽しく過ごせる学校作りに教職員一同取り組んできました。いつも保護者や地域の皆様からの応援や支えをいただいたことに、感謝しています。本当に1年間ありがとうございました。

明日から子どもたちにとっては待ちに待った春休み。いつも明るく元気いっぱいな新喜多中生や、いつも学校を応援してくださる保護者や地域の皆さんにとって、有意義な春になることを期待し、4月にまた元気に会えることを楽しみにしています。

